

# 「種を撒く人」

～聞き方に注意する～

ルカ 8:4～18

日本の種まきは丁寧に作業をしていきます。撒く場所も定まっています。聖書に書かれているイスラエルの種まきは、種をばら撒きます。なので、同じ畑内の、道端になっている処に落ちたり、岩に落ちたり、茨が生えている上に落ちたりします。この箇所を読むときに、日本の農業と、イスラエルの農業の違いを頭に浮かべながらこの箇所を学んでいきましょう。イエス様は、群集には例え話の意味は言われませんでした。弟子達には意味を説明されました。私達は、聖書を通して例え話の意味を知ることができます。このことから、聞く私達は、意味を知らされない群集ではなくもうすでにイエス様の弟子であるのです。

## □道端に落ちた種 人に踏みつけられ鳥に食べられる

種とは... 神様の言葉  
地とは... 私達の心

神様が私達にどんなに祝福のメッセージを与えても、約束や夢やビジョンや救いの知らせを与えてとしても、私達がいかにして聞くかによって、大きく変わってきます。ここでいう道端とは、畑内で人が通り、踏み固められているところをさしています。畑であるのにあたかも道端であるかのようになっているところです。自分の考えと同じであればアーメン（その通りです!）と言えるが、考えと違うことは、だけど...、しかし... と言う事はありませんか？まさにそのような心の状態が道端であり、自分の内側に固まってしまっているものがあり、自分の考えている事以外は受け取れない、その心の状態がここでは道端に例えられています。

## □岩の上に落ちた種 イエス様を信じて喜びが与えられた、 というだけで満足

御言葉を聞き、ハレルヤ!!アーメン!!で終わってしまい、そこから先の行動がなかなかできず、そうこうしているうちに忘れてしまうそのような状態を指します。種は撒かれるが、根が張らず、成長も、収穫も出来ない状態です。

## □茨の中に落ちた種 この世の心づかいや富や、快樂 ＝(執着)によってふさがれる

あなたは執着しているものがありますか？  
執着しているものによって心が支配されていませんか？それとも神様の御言葉によって心が支配されているのでしょうか？神様から、今せよ、と言われているときに執着によって心がふさがれていると、実行することをとどめてしまいます。種から根が生え成長しても、途中でふさがれてしまい、実が熟すのを見ることができません。失敗への恐れや、思い煩いもそのたぐい。あなたの執着は何でしょうか？  
ルカ 8:4-18 を通して、私達が今しなければならぬ事は、道端・岩・茨の中のどのタイプが自分に当てはまっているのかを見ていくのではなく、この全てのことが、ひとつの畑（自分自身の心）の中で起こっていることと捉えて受け取っていくことが大切です。私達の心は神様が造ってくださった良い地である事が前提なのです。ただそのなかにある、道端のところ、岩があるところ、茨が生えているところを整えていくことを語られています。  
正しい良い心で御言葉を聞くときに、御言葉の種をしっかり守ることができ、成長の段階を耐えることができます。すべての例えがあなたに語られているのです。

## 聞き方に注意する為に ①パターンを変える

あなたの不のスパイラルのパターンは何ですか？  
イライラするパターン、喧嘩のパターン、いっぱいいっぱいになった時に発してしまう一言、そこから芋づる式に出てきてしまう言葉、慌しくなるパターン... 何かあるでしょうか？不のパターンを変える事はとても大切です。「ですから、私たちは今後、人間的な標準で人を知らうとはしません。かつては人間的な標準でキリストを知っていたとしても、今はそのような知り方はしません。だれでもキリストのうちにあるなら、その人は新しく造られた者です。古いものは過ぎ去って、見よすべてが新しくなりました。」第IIコリント 5:16、17

自分自身の事を人間的な標準ではみませんと告白して、何かパターンを変えていくことが必要です。なぜなら不のパターンを変えることは、悪魔が一番嫌がる事だからです。不の循環が変わってしまうからです。勝利していきましょう。

## ②ひとつ実行する

パターンを変えるのはひとつで良いのです。日常のシーンのひとつ。簡単なひとつです。例えば、まず怒らない、一言出そうになったときには、それをプラスに変えてみるなど、簡単なひとつで良いのです。「もし肉に従って生きるなら、あなたがたは死ぬのです。しかし、もし御霊によって、からだの行いを殺すなら、あなたがたは生きるのです。」ローマ 8:13

自分にとってマイナスをよぶもの、その行いをまずは何かひとつ、パターンを変えることを実行していきましょう。神様と共に実行していくなら、神様は必ず全てのことを益としてくださり、私達が必要なものは備えてくださるので。ローマ 8:28 パターンを変える＝握っていることを手放す、という事は、神様に捧げるという事で、捧げたものに神様は必ず祝福を与えて下さいます。

## ③混ぜ物をしない 箴言 30:5、6

神様は純粹でシンプルなお方です。御言葉を難しくしてしまっているのは自分の心なのです。シンプルな神様に寄り頼むとき御言葉が必要です。それを自分の尺度で変えてはいけません。「自分を愛するように、他人を愛せ」と言われるときに、他人は愛せるけれど、自分は愛せない...。というのは、これは御言葉とは相反します。

## 恵みの雨

アカタマ砂漠  
南米のチリにある砂漠です。かつて一面に広がる生き物も生息できない砂ばかりの荒れた地でした。ある日、そこに7年分の雨が1日で降りました。そうすると、その荒れた地に一面の花が咲きました。一面の花畑になりました。どうしてそのような事が起こったのでしょうか？それは、この荒れた地の砂の中に沢山の種があったからです。たくさんの種類の花が咲き、その中の花には何億年前もの種から出た花もありました。また、この地にしか咲くことがない固有主の花も沢山ありました。やがてその花をみに、癒しをうけに人々が来るようになりました。また蜜を求めてちょうや生き物が生息するようになりました。私達の心に飢え渴きがあるのでしょうか？自分ではもうどうすることもできない荒れた地があるのでしょうか？神様はそんな地を決して責めてはいけません。ただ教えて下さっているのです。あなたの中のたくさんの種のことを。あなたにしか咲かすことの出来ない種があることを。神様にせつにもとめるときに、私達が問題を手放すときに、神様は私達の心に雨を降らせて下さいます。私達が踏み固めてしまっている地を柔らかくし、岩を取り除き、茨を押し流して下さいます。神様の恵みの雨によって、花畑となるのです。今度は私達が与えるものとなる事ができるのです。